

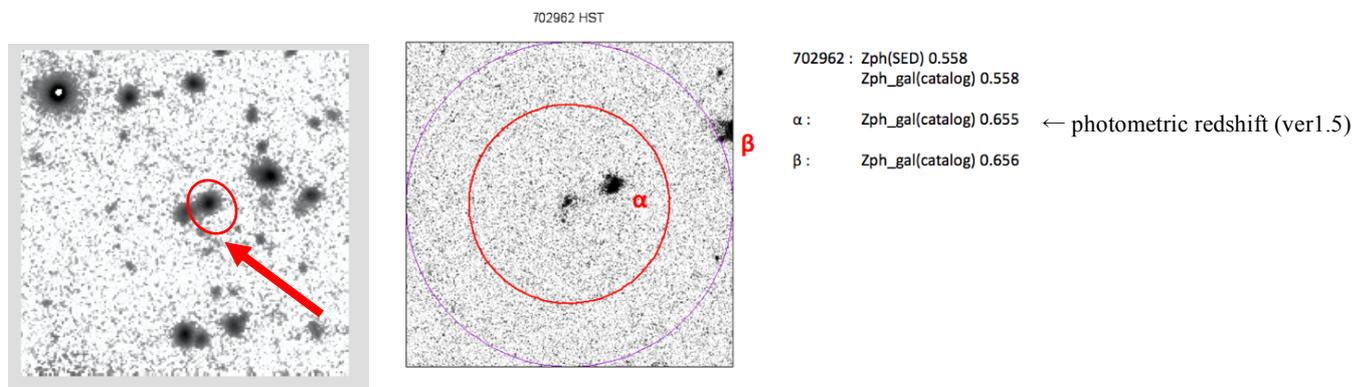
以前の166天体のサンプルと今回の CFHT u+SUBARU(全バンド)+ULTRA VISTA のサンプルの中で、cosmos のイメージから周辺天体と強輝線天体が非常に近傍にあると判断できる天体がいくつかありました。

その中で少数ですが強輝線カタログの輝線天体の phot-z と cosmos-photometric-redshift カタログの周辺天体の phot-z の値に差異が見られる天体がサンプル中にありました。

狭い領域の面密度等を調べる場合にこのようなサンプルはどのように対処するべきでしょうか。下は上記のサンプルの例になっております。15''×15''の視野です

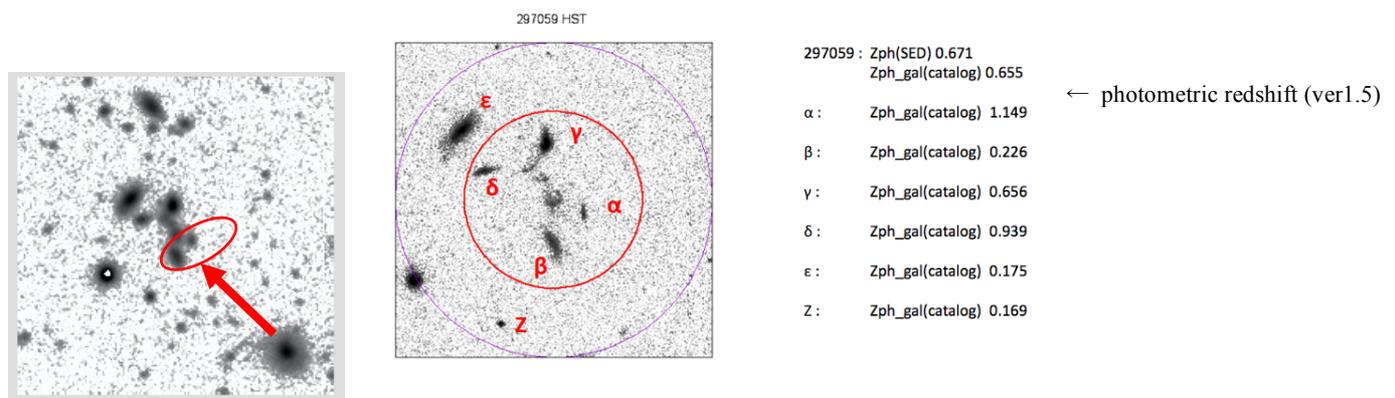
Ex) 左が SUBARU で右が HST の ACS の画像になっております(15''×15'')

強輝線天体 702962 phot-z 0.558(強輝線カタログ)



photometric redshift catalog(version 2.0) α (ID 702961): photometric-z : 0.69

強輝線天体 297059 phot-z 0.671 (強輝線カタログ)



photometric redshift catalog(version2.0) α (ID 297056): photometric-z : 1.4227

β (ID 297057): photometric-z : 0.2271